



第34回 伊吹文明政経セミナー・御案内

日本の戦後、現在、そしてこれから —歴史は今を考える教師である—

2017 サマーセミナー

主催 衆議院議員 伊吹文明後援会
新しいいぶきの会

大東亜戦争終戦から70年です。貧しく、ひもじく、打ちひしがれた終戦直後の日本人には、誇りを失った人もいました。作家・高見順の「終戦日記」には、「ハロー 滋養劣等」と占領米軍人に煙草をねだる発音の悪さと光景を、国辱と嘆く一節があります。が、当時の多くの先人は、家族を養うため、我慢と一生懸命に毎日を生きてきたのです。NHKの朝ドラが、戦中戦後の家族の絆を描くのも、何かを今の世相に問いかけているようにも思います。

日本の近現代史をふりかえると、70年の歳月は一つの時代の区切りでもあります。先人の努力で、欧米列強の植民地化を免れた日本は、強国強兵を「坂の上の雲」として、欧米列強の仲間入りに突き進みました。日清・日露戦争に勝利した日本は有頂天になり、欧米列強の後を追って植民地獲得に狂奔、中国大陸進出、大東亜戦争に突入。そして終戦までの70年。

戦後の荒廃のなかで、米国の豊かさを至上のものとして、追いつけ追いこせ。高度成長を経て得た富により、社会資本を充実させ、社会保障制度等を整備しました。そして長寿少子化、豊かさのなかで味わう閉塞感と人の絆の喪失の現在までの70年。

繁栄した国はあっても繁栄し続けた国は歴史上存在しません。日本の人口構成も、戦後に生まれた人達が80%となりました。豊かさとは何か、幸せとは何か。次の70年の「坂の上の雲」を改めて考えてみる時が来ているようです。人口の都市集中と地方の荒廃。核家族化と地域社会の機能低下。長寿少子化による成長力鈍化と財政の悪化。国際化による国内政策選択幅の制限。豊かさ故の難問は、豊かさを当り前と思ってる私達の前に山積です。

戦中、戦後、高度成長期を生き抜いた先達、今後を担う世代の講師の先生から「歴史に学び、未来を展望し、新たな70年は何を目指して生きるのか」を伺い、皆で議論してみましょう。

- と き 7月28日(金) 午前9時00分(受付開始)～午後4時50分(終了)
- と ころ 国立京都国際会館(左京区宝ヶ池 ☎705-1234代)
- 会 費 14,000円/1名様(実費:但し、先着200名様限り)
- 主 催 衆議院議員 伊吹文明後援会 新しいいぶきの会
京都市下京区四條通東洞院角 フコク生命ビル3階 ☎211-1717(代)

SUMMER SEMINAR PROGRAM

総司会 龍谷大学渉外顧問 藤本 圭司先生
開会式・オリエンテーション ◀9:30～ 9:40▶

(I) 問題提起 何を護り、何を加えるか ◀9:40～10:00▶

衆議院議員 伊吹文明
戦後や五十年・三十年前に比べ、日本は豊かで便利な国です。道路や社会保障制度等の公共インフラ、マイカー、インターネット等々。半面ネットの普及で対面対話は少なく、諍いや助け合いのあった三世家庭も昔のことに。快適さ、便利さを汗でなくお金で処理する高コストの国・日本を今後も維持できるのか。何を護り、何を改革するのか—を考えましょう。

(II) 講演 私の戦後、高度成長期、そして今 ◀10:00～11:10▶
—豊かさで得たもの、失ったもの—

政治評論家 森田 実先生
昭和7年生まれの森田先生は、厳しく、的確な政治批判で今も健在です。先生の人生は戦中、戦後、高度成長期そして現在に至っています。その間の日本人と日本社会、政治は先生の目にどう映ったのでしょうか。健全で強い野党があつてこそ、与党も国民の為に良き政治が出来るという代表民主制の将来に、何が必要なのか—有権者と政治家への警鐘を伺います。

(III) 講演 国際社会のなかの日本・日本人 ◀11:10～12:20▶
—グローバル化の功罪—

京都大学名誉教授 中西 輝政先生
高度成長の結果、経済的には大国になった日本は、世界の重要な一員に。しかし一方で国際的義務を担い、異文化流入も避けぬ現実です。安全保障面で依存する米国の考え方や仕組みは、グローバル化の名の下、半ば強制的に日本に流入します。この文明の衝突が日本にもたらした功罪、日本は、日本人は今後どのように対処すれば良いのか—中西先生の登場です。

昼 食 ◀12:20～13:20▶

(IV) 講演 人生100年時代の社会保障 ◀13:20～14:30▶
—こども保険に込めたメッセージとは—

衆議院議員 小泉 進次郎先生
経済成長は、多様な人生選択を女性にも可能にし、皆保険制度の下、医療の質も向上。結果は長寿少子社会であり、先進国共通の成長率低下と財政悪化です。人生100年時代とこども保険の提言に込めた、世代間公平や自助、共助、公助のバランスをどうするか—これからの世代の小泉先生に伺います。長寿世代、現役世代、皆で考えてみましょう。

コーヒー・ブレイク ◀14:30～14:50▶

(V) 講演 京都府政の回顧と展望 ◀14:50～16:00▶
—孤立から協調へ—

前京都府知事 荒巻 禎一先生
京都府域の行政を担い、中央との窓口となるのが知事。28年間に亘り府政を担った共産党主導の蜷川府政は、中央の自民党政権と対立。その時期が国家財政が潤った高度成長期と重なった為、京都の基盤投資は大幅に遅れました。府政転換後、遅れを取り戻しているのが現在です。蜷川府政にも携わり、林田府政を引継いだ荒巻前知事の回顧と京都の将来展望です。

懇親パーティ ◀16:00～16:50▶

きりとせん

第34回伊吹文明政経セミナー

2017 SUMMER SEMINAR

受講券



ご自宅住所

〒

☎

お名前

年令

才

貴社名

★ご来場の節は、必要事項をご記入の上、受付にご提示下さい。
(ご記入はボールペンにてお願いします。)

★先着200名様限りとしていますので、お申し込み後のお取消しはご容赦下さい。